

松川町 高齢者対象アンケート 調査概要

令和 3 年 5 月 27 日

1. 目的

(1) 町全体の公共交通を検討するため、主な利用者である 75 歳以上の住民の移動実態を把握する

現在、町内の主要施設への移動はできるが、移動したい時間帯などのニーズに対応できていない可能性がある。主な利用者である 75 歳以上の住民の移動実態や移動したい時間帯から町内移動に係る改善を検討する。あわせて町外の移動も把握する。

(2) まつかわフルーツバスの必要性を明らかにする

移動に対する考え方を把握し、75 歳以上高齢者にとって、まつかわフルーツバスがどの程度必須のものとなっているのかを明らかにする。

2. 収集する情報

(1) 町内外の移動にかかる改善を検討するための情報

75 歳以上高齢者の移動実態（移動先、移動手段、公共交通の利用頻度、移動したい時間帯）、町内外で移動したけれど行けない場所の有無を確認し、他路線への接続設定、運行形態の変更、運行範囲の拡大も視野に入れた松川町全体の公共交通の改善を検討する。

(2) まつかわフルーツバスの必要性を確認するとともに、あり方を検討するための情報

公共交通利用者の公共交通に対する意識（移動を自力でしたいのか/誰かに頼っても移動できればよいのか、公共交通がなくなったらどのような影響があるか）について確認し、交通不便者の生活に必要なとされているのかを確認する。

3. 質問項目

- (1) 利用者の属性（性別、年代、居住地区、免許の有無）
- (2) 利用実態（行先、利用頻度）
- (3) 運行と移動需要のズレ（移動したい場所（町内・町外）、移動したい時間帯）
- (4) 移動に対する考え方
- (5) 公共交通がなくなった場合の影響
- (6) その他、公共交通に対する意見

4. 実施概要

(1) 対象：町内の 75 歳以上の高齢者 約 2,000 人（令和 3 年 4 月 1 日時点）

(2) 方法

配布：自治会を通じて配布

回収：郵送にて回収（役場への直接提出も受け付ける）

(3) 調査実施時期：6 月下旬～7 月

5. その他

次回、協議会において、アンケート調査結果を報告するとともに、運行見直しの方向性について協議する。